06 留学生特別選抜

検定料 35,000円

航空・マネジメント学群および健康福祉学群保育専修の募集はありません。

募集人員

リベラルアーツ学群	グローバル・コミュニケーション学群	ビジネスマネジメント学群	健康福祉学群	芸術文化学群
領域を選択(P.02参照) •人文領域 •社会領域 •自然領域	言語を選択 •英語 •中国語 •日本語	学群一括募集 アビエーションマネジメント学類を希望する者は、1年次秋学期にコース決定のための審査があります。	専修を選択 •社会福祉専修 •精神保健福祉専修 •健康科学専修	専修を選択 •演劇・ダンス専修 •音楽専修 •ビジュアル・アーツ専修
LA 50人以内	GC 31人以内	BM 49人以内	健福 10人以内	芸文 10人以内

出願条件 次の1、2の条件を満たす者。

1.日本の学校教育法にもとづく小学校・中学校・高等学校・中等教育学校等に在学した期間が通算6年以内である者。また、次の①～③のいずれかに該当する者。

①学校教育における12年の課程を修了した者(修了見込みの者を含む)。
②その国の大学入学資格(アビトゥア、国際バカロレア等)を有する者。
③本学において上記①～②と同程度の資格を有すると認定された者。

2.以下の各学群(方式)で定めるいずれかの語学資格の点数以上を取得していること。

LA GC(J方式) BM 健福 芸文
- 日本語能力試験(JLPT)N2
- 日本語能力試験(JLPT)N1を受験し、54点以上取得
- 日本留学試験(EJU)日本語(記述は除く)200点以上※1
- J-CAT250点以上
(J-CATについては「学生募集要項」で確認してください。)

GC(E方式)
- TOEFL iBT® 61点以上※2
- TOEIC® L&R 600点以上※2
- IELTS™ 5.5以上
- HKDSE English Language Subject level3

注意事項
- オフィシャルスコアに限ります。
※1 日本語は聴解、聴読解、読解の合計(記述は除く)。
※2 TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC® IP、IELTS™(General Training Module)は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。

日程

日　程	第1回[私費留学生奨学生選抜※1含む]	第2回
出願登録(インターネット出願)	9/28(火)～10/4(月) 最終日は正午(12時)まで	11/26(金)～12/1(水) 最終日は正午(12時)まで
検定料支払期限	10/4(月)※2	12/1(水)※2
出願書類提出期限	10/4(月)消印有効	12/1(水)消印有効
デジタル受験票発行開始日	10/29(金)15時から順次発行	12/16(木)15時から順次発行
試験日・試験会場	11/6(土) オンライン LA GC BM 健福 芸文	1/8(土) オンライン LA GC BM 健福 芸文
選抜方法	書類審査 + 面接※3	書類審査 + 面接※3
合格発表日	11/12(金)	1/14(金)
入学手続締切日	11/24(水)一括納入(入学金および春学期納入金)	1/21(金)一括納入(入学金および春学期納入金)

※1 詳しくは、下記の「私費留学生奨学生選抜」を確認してください。
※2 出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。
※3 GC学群の面接で使用する言語は「入学後、学修を希望する主たる言語」により異なります。詳しくはP.03で確認してください。芸文学群の審査方法はP.04を確認してください。

私費留学生奨学生選抜

■ 募集人員 最大100人

留学生を対象とした奨学生選抜です。本選抜の合格者は最大4年間、各学期の授業料が10～100%減免されます。
(詳細は「学生募集要項」で確認してください)

●出願条件:以下の各学群(方式)で定めるいずれかの語学資格の点数以上を取得していること。

LA GC(J方式) BM 健福 芸文
- 日本語能力試験(JLPT)N1
- 日本語能力試験(JLPT)N2に総合得点108点以上で合格
- 日本留学試験(EJU)日本語(記述は除く)220点以上※1
- J-CAT260点以上
(J-CATについては「学生募集要項」で確認してください。)

GC(E方式)
- TOEFL iBT® 67点以上※2
- TOEIC® L&R 710点以上※2
- IELTS™ 6以上
- HKDSE English Language Subject level4

注意事項
- オフィシャルスコアに限ります。
※1 日本語は聴解、聴読解、読解の合計(記述は除く)。
※2 TOEFL ITP®、TOEFL iBT® MyBest™ scores、TOEIC® IP、IELTS™(General Training Module)は対象としません。TOEFL iBT® Special Home Editionは対象とします。

●奨学金申請の前提条件:下記の①～④すべての前提条件を満たすこと。

①「留学」の在留資格を有していること。
②仕送り金額(学納金分の金額を除く)が、平均月額90,000円以下であること。
③在日している扶養者がいる場合、その年間所得が、独立行政法人日本学生支援機構の第二種奨学金の収入基準額以下であること。
(独立行政法人日本学生支援機構のホームページ参照)
④年額10万円以上の他の学内奨学金及び文部科学省外国人留学生学習奨励費と同額以上の他団体奨学金との併給は不可。
受給中は、文部科学省外国人留学生学習奨励費の申請はできません。

●私費留学生奨学生選抜の合格について

合格には「奨学生としての合格」「奨学生の対象でない合格」の2種類があります。いずれの場合も合格発表後、入学手続きを行うか否かの選択ができます。

＊入学後、学期ごとに奨学生としての資格の継続審査があります。

リベラルアーツ学群の領域選択について

リベラルアーツ学群に出願する際は、希望する領域を以下の3つから1つ選択してください。

《 人文領域 》	《 社会領域 》	《 自然領域 》

入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。
（入学時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります。）

＊卒業時のメジャー（主専攻）は、入学時の領域と異なるものであっても問題ありません。
＊出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。
＊**インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。**出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

リベラルアーツ学群への出願時には、3つの領域から1つを選択

2021年から、受験生は出願時に「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択します。この狙いは、好きな領域・得意な領域で学問の基礎的な方法論を身につけ、大学での学びの足場をつくることにあります。また、同時に他の領域も学んで学際的思考を身につけることもめざします。リベラルアーツでの学びを学生の好きな領域・得意な領域から開始し、専門性を育んでいくことを目標にしています。

▶ リベラルアーツ学群のカリキュラムの概要

【専門科目】

【課題探究・実践科目】
- 卒業論文・卒業研究
- 専攻演習Ⅰ・Ⅱ
- 卒業サービスラーニングプロジェクト
- 探究サービスラーニング

《 統合領域 》

【専攻科目】

▶統合型プログラム
- 国際協力
- 多文化共生
- 博物館学
- 地域デザイン
- データサイエンス
- 科学コミュニケーション
- 日本研究
- アメリカ研究
- 環境学
- メディア・ジャーナリズム
- アジア研究
- ビッグヒストリー
- 言語教育

▶専門型プログラム（人文領域）
- 文学
- 言語学
- 哲学
- 宗教学
- 心理学
- コミュニケーション学

▶専門型プログラム（社会領域）
- 歴史学
- 文化人類学
- 法・政治学
- 経済学
- 社会学
- 教育学

▶専門型プログラム（自然領域）
- 数学
- 物理学
- 化学
- 生物学
- 情報科学

【専門基礎科目】

▶LA専門基礎
- 人文基礎 《 人文領域 》
- 社会基礎 《 社会領域 》
- 自然基礎 《 自然領域 》

【基礎教育科目】
- コア科目
- 外国語科目

グローバル・コミュニケーション学群の面接方法について

GC学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。
面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は20分です。
面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。
課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問をします。

○:面接で必ず使用する言語　△:面接で必要に応じて使用する言語

母語※	入学後、学修を希望する主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英 語	中国語	備 考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	—	
	英語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

＊「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

注意事項　面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち1つか2つの言語でも面接を行うことがあります。

芸術文化学群の審査方法について

選抜方式	専修	審査方式	芸文のみの主な出願書類	審査内容
留学生	**演劇・ダンス 音楽 ビジュアル・アーツ**	小論文型	「活動報告書（芸文版）」※1 「小論文」※2	事前提出した小論文をもとに面接審査（15分）

※1 「活動報告書（芸文版）」は現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。
※2 「小論文」については、「芸術と社会」をテーマとして自分の考えを800字以内でまとめ、他の出願書類と一緒に提出してください。編入学者選抜は、※2の「小論文」に加え、小論文テストを事前提出します。

注意事項
- 志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。
- 面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。